

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成30年10月4日 (2018.10.4)

【公開番号】特開2017-54691(P2017-54691A)

【公開日】平成29年3月16日 (2017.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2017-011

【出願番号】特願2015-177612(P2015-177612)

【国際特許分類】

H 0 1 H 13/48 (2006.01)

H 0 1 H 13/52 (2006.01)

H 0 1 H 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 H 13/48

H 0 1 H 13/52 F

H 0 1 H 11/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月22日 (2018.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

凹部を有しているケースと、
前記凹部内に配置されている複数の固定電極と、
前記凹部内に配置されており、前記複数の固定電極同士を電氣的に絶縁する第一状態と電氣的に導通する第二状態との間で弾性変形可能とされている可動電極と、
第一可撓性を有しており、前記凹部を覆っている第一樹脂カバーと、
前記第一可撓性よりも低い第二可撓性を有しており、前記可動電極と対向するように前記第一樹脂カバーに固定されている第二樹脂カバーと、
前記第一樹脂カバーと前記第二樹脂カバーの間に配置されており、前記第一樹脂カバーの変形に応じて、前記第二樹脂カバーを介して前記可動電極を弾性変形させるように構成されている押圧部材と、
を備えている、
プッシュスイッチ。

【請求項 2】

前記第一樹脂カバーは、ナイロン製または P P S 製である、
請求項 1 に記載のプッシュスイッチ。

【請求項 3】

前記押圧部材の変位方向と交差する方向における前記ケースの最大幅寸法は、2 . 5 m m 以下である、
請求項 1 または 2 に記載のプッシュスイッチ。

【請求項 4】

プッシュスイッチの製造方法であって、
凹部内に複数の固定電極が配置されているケースを用意し、
前記複数の固定電極同士を電氣的に絶縁する第一状態と電氣的に導通する第二状態との間で弾性変形可能となるように、前記凹部内に可動電極を配置し、

第一可撓性を有している第一樹脂カバーに押圧部材を固定し、
前記第一可撓性よりも低い第二可撓性を有している第二樹脂カバーを、前記押圧部材を覆うように前記第一樹脂カバーに固定し、
前記押圧部材と前記第二樹脂カバーが固定された前記第一樹脂カバーを、前記凹部を覆うように前記ケースに固定する、
製造方法。

【請求項 5】

前記押圧部材と前記第二樹脂カバーの前記第一樹脂カバーへの固定は、レーザ溶着により行なわれる、
請求項 4 に記載の製造方法。

【請求項 6】

前記第一樹脂カバーが前記ケースに固定された後に、アニール処理を行なう、
請求項 4 または 5 に記載の製造方法。

【請求項 7】

凹部を有しているケースと、
前記凹部内に配置されている複数の固定電極と、
前記凹部内に配置されており、前記複数の固定電極同士を電氣的に絶縁する第一状態と電氣的に導通する第二状態との間で弾性変形可能とされている可動電極と、
第一可撓性を有しており、前記凹部を覆っている第一樹脂カバーと、
前記第一可撓性よりも低い第二可撓性を有しており、接着面を介して前記第一樹脂カバーに固定されている第二樹脂カバーと、
前記第一樹脂カバーに固定されており、前記第一樹脂カバーの変形に応じて、前記可動電極を弾性変形させるように構成されている押圧部材と、
を備えている、
プッシュスイッチ。

【請求項 8】

プッシュスイッチの製造方法であって、
凹部内に複数の固定電極が配置されているケースを用意し、
前記複数の固定電極同士を電氣的に絶縁する第一状態と電氣的に導通する第二状態との間で弾性変形可能となるように、前記凹部内に可動電極を配置し、
第一可撓性を有している第一樹脂カバーに押圧部材を固定し、
前記第一可撓性よりも低い第二可撓性を有している第二樹脂カバーを、接着面を介して前記第一樹脂カバーに固定し、
前記押圧部材と前記第二樹脂カバーが固定された前記第一樹脂カバーを、前記凹部を覆うように前記ケースに固定する、
製造方法。